

科目名	GCB									
科目名(英)	Global Citizen Basic									
単位数	1単位		時間数		15時間		担当者		担任	
実施年度	2019年度		実施時期		後期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員専攻科・1年									
授業概要	マナーと協力(協働)について学ぶ全8講座を、50分授業×15回で実施する。									
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
				○		キャリア実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間力)であることを理解できる。				
				○		感謝心が人間力の根底にあることを知ることができる。				
				○		人間力を高めるためのマナーの重要性に気づくことができる。				
テキスト・教材 参考図書	GCB I テキスト									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	第1講座 グローバル・シティズンを目指そう①								
	2	第1講座 グローバル・シティズンを目指そう②								
	3	第2講座 「協働」の態度を持った学生生活①								
	4	第2講座 「協働」の態度を持った学生生活②								
	5	第3講座 よりよい人間関係の構築に向けて モラル・マナーの重要性①								
	6	第3講座 よりよい人間関係の構築に向けて モラル・マナーの重要性②								
	7	第4講座 マナーの本質 I ①								
	8	第4講座 マナーの本質 I ②								
	9	第5講座 マナーの本質 II ①								
	10	第5講座 マナーの本質 II ②								
	11	第6講座 グローバル・シティズンとしての日常①								
	12	第6講座 グローバル・シティズンとしての日常②								
	13	第7講座 グローバル・シティズンとしての目標③								
	14	第7講座 グローバル・シティズンとしての目標④								
	15	第8講座 グローバル・シティズンとしての「志」に向けて								
評価方法	各講座ごとにおけるレポートの提出状況、出席状況によりR評価する。 レポート未提出、及び3分の2以上の出席を満たさない場合は、D評価(不合格)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	レポート		○			○		80%		
	出席状況					○		20%		
履修上の注意										

科目名		ビジネス実務					
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	61時間		担当者	担任	
実施年度	2019年度	実施時期	後期		実務家教員 担当科目		
対象学科・学年		公務員専攻科 1年					
授業概要		社会生活を行うについての各種の知識を学び体験することにより、見識を深める。 危険回避のための講座、文化教養を高めるための講座、一般的教養を高めるための講座、コミュニケーションを高めるための講座等を実施する。また、学外での施設見学とセミナーへの参加も実施する。					
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				講座を学び体験することによって、講座の中から社会生活に活用できる知識を発見できる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		全61時間に下記の講座を設定し、学生選択により実施する。					
		1. 社会制度・危険回避講座					
		①消費者トラブル講座、②SNS講座					
		③資産運用・生活設計講座					
		2. 文化教養講座					
		①博多織講座、②茶道講座					
		③海外旅行講座					
		3. 一般教養講座					
		①パソコン講座、②ペン字講座					
		③ビジネスマナー講座、④手帳活用講座					
		⑤キャリア形成講座					
		4. コミュニケーション力向上講座					
		①英会話講座、②手話講座					
		③レクリエーション講座					
		④コミュニケーションツールとしての手品(マジック)講座					
		5. 外部施設見学・セミナー					
		見学：①九州国立博物館、②アメリカ領事館					
		③航空自衛隊、					
		セミナー：①ドローン、②国際交流					
		※掲載講座は平成30年度実績					
評価方法	単位取得のための出席要件を満たし、レポートにおける合否判定で合格した場合、R評価(合格)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出	◎	◎				100%
履修上の注意							